

付属資料・目次

特記仕様書（抜粋）

付近見取図・案内図・配置図

平面图

特 1

1

2

京都大学（美山）芦生研究林林道災害復旧工事

I 工事概要

- | | |
|---------|-------------------------|
| 1. 工事場所 | 京都府南丹市美山町芦生（京都大学美山園地構内） |
| 2. 完成期限 | 令和7年12月5日（金曜日） |
| 3. 工事内容 | 法面復旧一式 |

4. 工事種目 (⊙ 印の付いたものが対象工事種目)

工 事 種 目	建 物 別 及 び 屋 外		
	工	事	種 別
○ 土木工事	一式		
・			
・			

5. 指定部分 ☒ 無 ・ 有 対象部分 ()
指定部分工期 令和 年 月 日 (曜日)
6. 概成工期 ☒ 無 ・ 有 令和 年 月 日 (曜日) (1.2.1) [1.2.1]

Ⅱ 工事仕様

- (1) 共通仕様
- (イ) 文部科学省発注工事諸費等契約規則（文部科学省訓令第二十二号）別記第1号の工事諸費
見積基準、現場説明書、図面、 校及び本仕様仕様書 校によるほか、○印の付いた
ものを用いる。
- (ロ) 文部科学省土木工事標準仕様書（令和4年版）（以下「標準詳細図」という。）
- (ハ) 文部科学省土木工事工程管理要領（令和3年版）
- (ニ）工事費算出要領（令和5年9月）
- ・
- ・
- ・
2. 特約仕様
- (1) 本特約仕様書の表記
- 1) 項目は、○印の付いたものを適用する。
- 2) 特約事項は、○印の付いたものを適用する。
- 3) ○印の付いた場合は、※印の付いたものを適用する。
- 印と※印の付いた場合は、共に適用する。
- 3) 特約事項に記載の〔 〕内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
特約事項に記載の〔 〕内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
特約事項に記載の〔 〕内表示番号は、文科技標準書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
特約事項に記載の〔 〕内表示番号は、文科技改修標準書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
4) 図表、図面、「図表」及び「図面」の改訂年度に関する法第1（平成12年法律第10号）に基
づく「建築物等の図面の改訂に関する基本方針（平成14年7月8日閣議決定）」に定める
特定図表物品における判断の基準（特定図表物品「公共工事」においては表1の品目ごとの判
断の基準）を施すものとする。

章	
---	--

1 各章共通事項

項 目	備 註
一、	
二、	
三、	
四、	
五、	
六、	
七、	
八、	
九、	
十、	
十一、	
十二、	
十三、	
十四、	
十五、	
十六、	
十七、	
十八、	
十九、	
二十、	
二十一、	
二十二、	
二十三、	
二十四、	
二十五、	
二十六、	
二十七、	
二十八、	
二十九、	
三十、	
三十一、	
三十二、	
三十三、	
三十四、	
三十五、	
三十六、	
三十七、	
三十八、	
三十九、	
四十、	
四十一、	
四十二、	
四十三、	
四十四、	
四十五、	
四十六、	
四十七、	
四十八、	
四十九、	
五十、	
五十一、	
五十二、	
五十三、	
五十四、	
五十五、	
五十六、	
五十七、	
五十八、	
五十九、	
六十、	
六十一、	
六十二、	
六十三、	
六十四、	
六十五、	
六十六、	
六十七、	
六十八、	
六十九、	
七十、	
七十一、	
七十二、	
七十三、	
七十四、	
七十五、	
七十六、	
七十七、	
七十八、	
七十九、	
八十、	
八十一、	
八十二、	
八十三、	
八十四、	
八十五、	
八十六、	
八十七、	
八十八、	
八十九、	
九十、	
九十一、	
九十二、	
九十三、	
九十四、	
九十五、	
九十六、	
九十七、	
九十八、	
九十九、	
一百、	

3) 施工条件

特 記 事 項

この工事現場では、次の施工条件による。

- 現場までの道路は幅員が狭いため、搬入にあたっては現地調査を行い適正な車両、重機を選定すること。
- 冬季積雪時は入林不可となるため、工事は11月末までに完了すること。

[illegible]

工事名称	京都大学（美山）芦生研究林林道災害復旧工事
------	-----------------------

縮尺	-
----	---

図面番号

図面名称	特記仕様書(抜粋)
------	-----------

令和 7 年

特 1

現場説明付記事項

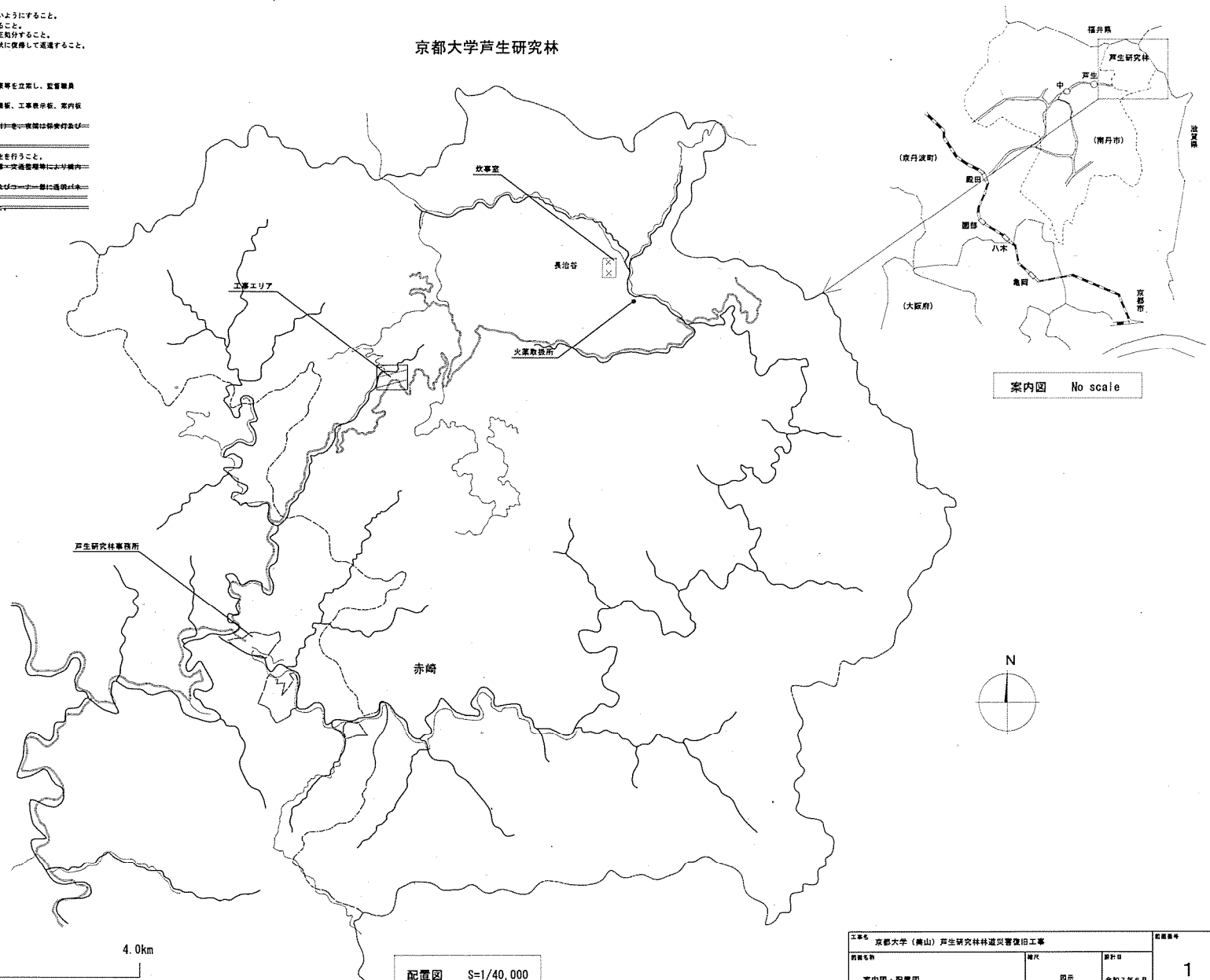
- 工事施工上の注意事項
 - 車両通行経路は、図示の通りとする。
 - 工事用地は図示の範囲とし、危険防止のため関係者以外の出入ができないようにすること。
 - 実習等のスケジュールを考慮し、監督職員と協議の上、工事計画を立てること。
 - 支障となる地中埋設物を発見した時は、監督職員と協議の上撤去し、適正処分すること。
 - 工事用地は、関係等に良好な関係を維持すると共に工事完成時には現状に復旧して通過すること。

- 工事中の安全対策について

工事中の安全対策については、下記事項を十分留意した上、具体的な安全対策等を立案し、監督職員と協議の上、実用を受けるものとする。

 - 監督職員と協議の上、案内所に工事予告板、警戒線標板、交通規制標板、工事表示板、案内板等を設置し、常に良好な状態に保つこと。
 - 掘削時等で危険な状態となる箇所には、安全柵に「京大中央学舎（赤旗）」「赤旗は静寂行あり」等の注意喚起を設け、安全な状態を確保すること。
 - 掘削時の安全な掘削作業のための工事用地を確保すること。
 - 大型車両の掘削通行に際し、地中埋設物、マンホール等は必要に応じ養生を行うこと。
 - 大型車両による作業の場合は必要に応じて交通規制員を確保し、掘削・交通規制等に要する範囲の安全確保に努めること。
 - 掘削の計画に伴い、掘削通過の経路性が確保できない場合は、警戒行及び「掘削通過」の表示を設置する等必要措置を講ずること。
 - 掘削作業中は掘削作業の進行状況等を関係等に随時報告すること。

京都大学芦生研究林



案内図 No scale

配置図 S=1/40,000

工事名	京都大学（奥山）芦生研究林林道災害復旧工事			配置番号
図面名称	案内図・配置図	図尺	図示	図日
			令和7年6月	1

